

関係者各位

宿毛漁業指導所

赤潮・貝毒プランクトンの調査について

赤潮プランクトン調査の結果、魚類を死滅させるおそれがあるコクロディニウム ポリクリコイデスが最大で 32細胞/mL 確認されました。ヒロウラ漁場及び栄喜付近でコクロディニウム ポリクリコイデスが増殖傾向にありますので、海色等に十分注意してください。

貝毒プランクトン調査の結果、麻痺性貝毒原因種のギムノディニウム カテナータムが最大で 13細胞/mL 確認されました。

※（本日は、海水 1mL でプランクトンの検鏡を実施しております。）

調査時間 (10:00~11:00)	水深	水温	塩分	溶存 酸素	コクロディニウム ポリクリコイデス	ギムノディニウム カタネータム
採集地点	(m)	(°C)	(psu)	(mg/L)	*1	*3
片島出荷場 下図①	5	-	-	-	0	0
ヒロウラ 下図②	0	-	-	-	6	0
	5	-	-	-	32	13
栄喜 下図③	0	-	-	-	1	0
	5	-	-	-	5	10
青瀬山 下図④	0	-	-	-	1	0
	5	-	-	-	5	0

\*1：魚類を死滅させるおそれがある種 (細胞/mL)

\*2：魚類を弱らせるおそれがある種、\*3：麻痺性貝毒の原因種

※魚類を死滅させるおそれがある種の注意報及び警報値

	注意報	警報	数値の参考県
コクロディニウム ポリクリコイデス	100 細胞/mL	1,000 細胞/mL	香川県

〈下図〉

